



あけましておめでとうございます。りす組での生活も残すところあと3か月となりました。2020年もいろいろなことを経験して楽しい園生活を過ごしていきたいと思います。今年もよろしくをお願いします。



クリスマス制作で、サンタの靴の形をした画用紙に保育者が穴をあけて、子どもたちで紐を選び紐通しをしました。「ここにいれるの?」「こうやるの?」と聞きながら真剣な顔で紐通しをしていた子どもたち。いろいろな色をした小さな玉にボンドを付けると、違う色を集めて一列に付けている子や、折り紙の上に玉を付けている子など個性豊かな、素敵な作品が完成しました!

雪だるまの制作ではさみを使いました。実際に持ってみるとうまく切れないことや、持ち方が難しく苦戦している様子が見られました。保育者と一緒にはさみを使い、紙が切れると「切れたよ!」「できた」と、嬉しそうな子どもたち。その後は自分たちでも、切れるようになりはさみと向き合う時の表情は真剣です。



ルール遊び



友だちと手を繋ぐと「なべなべそこぬけ、そこがぬけたらはいりましょ♪」と腕の下をくぐる遊びがブームになっています。手を離さないよう繋ぎ、上手にくぐる事ができると友だちとタッチとして喜んでいました。

初めて椅子取りゲームをしました。音楽を流すと、手を叩きながら椅子の周りを歩き、音楽を止めると近くにある椅子に急いで座るというルールを理解して楽しんで遊んでいました。椅子に座れなかった子どもはゲームをしている友だちに「頑張れ〜」と、誰が勝つのか最後まで応援しました。今後もルールのある遊びを取り入れ、いろいろな遊びを楽しみたいと思います。



進級に向けて歯ブラシを始めました。給食を食べた後「歯磨きする!」「歯ブラシちょうだい」とやる気満々な子どもたち。歯ブラシを渡すと上の歯、下の歯を「シャカシャカ」とする音がよく聞こえてきます。磨き終わると、「先生やって!」と大きな口を開けて仕上げ磨きをしています。歯ブラシを洗う時には、歯ブラシに親指をあて洗っている姿が見られました。今後は丁寧に歯みがきをする事を伝えながら一人で最後まで磨けるようになっていきたいです。

